

Library Times

10月号
(Vol.0139)

月を愛でる



今年の十五夜は、9月21日でしたね。十五夜の月のことを「中秋の名月」といい、1年の中で一番キレイな月なんだそうです。月見は平安時代に中国から伝わりました。中国では月餅を供える習慣が、日本では月見団子になったといわれています。

そして、もう1つ日本独自の十三夜の月を愛でる風習があります。十三夜の月は十五夜の月に対して「後の月(のちのつき)」と呼ばれ、愛されてきました。少し欠けた月は満月とは違った風情があります。十三夜は十五夜のひと月後にあたり、今年は10月18日です。

涼しくなって空気が澄んだ夜空、そこに浮かぶ美しい月を眺めてみてはいかがでしょうか？ 月の美しい夜は、読書も進みそうですね！

(参考：『季節と暮らしのマナーとコト』井垣 利英/監修(385キ)

『現代用語の基礎知識 2008年版付録 12ヶ月のきまりごと歳時記 2008』(031ゲ08))

今月の1冊

『風水・家相』

黒門/監修(148フ)

情報センター・一般コーナー

—— 間取りとインテリアで

幸せを呼び込む ——



風水の中で最も一般的な「八宅風水」に基づいて、部屋別にインテリアの開運ポイントを徹底解説。お家で過ごす時間が増えたからこそ快適に過ごしたい。風水を参考にお部屋の模様替えはいかがでしょうか？

コレ聴く!!

おすすめCD

新着コーナーからおすすめのCDをご紹介します！ その日の気分に合わせて、いろいろなジャンルのCDを聞いてみませんか？

『ディズニー・ヴィランズ・ソングブック』

(995デ)

ハロウィンのBGMにぴったりなCDをご紹介します。全曲ディズニー映画に登場する邪悪なキャラクターたちの歌で構成された不気味な雰囲気のこのCD。聴けばハロウィン気分も盛り上がるかも？



おすすめDVD

どれ観る？

映画やアニメ、趣味など話題のDVDをピックアップ！

子どもから大人まで楽しめる1枚をご紹介します！ 館内でのご視聴も大歓迎です！

『キングダム』

佐藤 信介／監督 (778.1キ)



紀元前245年、春秋戦国時代、中華・西方の国「秦」。戦災孤児の少年・信と漂は天下の大將軍になることを夢見て鍛錬を積んでいた。大人気マンガの実写映画化作品。アクションシーンに注目です！！

何を読む？

おすすめ図書

読み聞かせや学習に役立つ資料を毎月1冊ピックアップ！
スタッフがおすすめる児童向けの本をご紹介します！

『かんじるえ』

大谷 陽一郎／さく (Eオ)

砂浜で貝がらを見つけた男の子や、夜空に打ち上げられた色とりどりの花火。絵をよ〜く見てみると全て漢字で描かれています。文字だけで描かれたとは思えない美しい絵。何の漢字があるかな？



●●● 展示・イベント情報 ●●●



「ドキュメンタリー」

◇カウンター前展示コーナー：10月1日（金）～10月28日（木）
秋の夜長に楽しめる、上質なドキュメンタリー作品を展示・貸出します。



「おばけとまほう」

◇児童コーナー：10月1日（金）～11月29日（月）
ハロウィンにちなみ、おばけや魔法が登場する本などを展示・貸出します。



「おとの定期便：ギター」

◇日時：10月9日（土）、23日（土）10：00～18：00
情報センター所蔵のCDの中から、今月はギターの曲をお届けします。



「雑誌リサイクルコーナー」

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度も館内にリサイクルコーナーを設置して雑誌を提供することにしました。

◇日時：10月2日（土）～11月29日（月）

◇場所：八戸図書情報センター内 リサイクルコーナー

※10月2日より土曜日ごとに8回に分けて雑誌を提供します。詳しくは、館内に掲示している雑誌提供スケジュールやチラシをご覧ください。

Twitterからも提供雑誌の一覧をお知らせいたします。

図書館 de 応援！



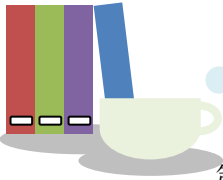
図書館から、ヴァンラーレ八戸や東北フリーブレイズの活躍を発信します。



10月のホーム戦は、6日、10日、17日、20日の予定です。20日（水）は、中止となった9月25日の代替試合です。選手の皆さんがハマっている料理や映画鑑賞、漫画などを紹介している『ひとりごとブログ』も読んでみてね！

10月のホーム戦は、16日、17日、30日、31日の予定です。フラット八戸へは電車やバスで行くことができます。今年は、バスでの行き方を選手がご案内。去年は電車でしたね。どちらもInstagramからどうぞ！





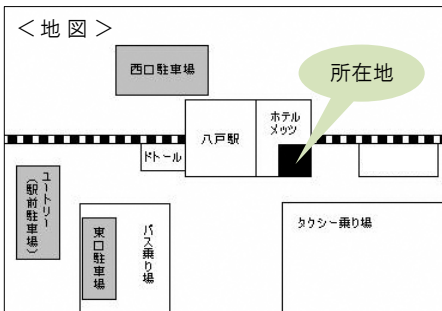
おんでやあんせらいばらりい

第138回：どうせチョンキンマンションには行けないし……

国外へ、あるいは隣の県にすら行けないと思うと閉塞感が息が詰まりそうになる。ならば、初めから行けない前提の場所について本や動画を見て楽しむのはどうだろう。沢木耕太郎の『深夜特急（※1）』の1巻目の舞台は1970年代の生命力に溢れた香港だ。その中に沢木さんが長期滞在した印象的なゲストハウスが出てくるのだが、この宿が入っている建物が、17階建てのチョンキンマンション（重慶大廈）という怪しいビルであるということを知り、九龍城塞が好きな私は飛びついた。そこは、携帯電話やコピー品などで商売をしているアメリカ人や南アジア人が多く集う場所であり、トイレの上にシャワーが付いているような狭い宿屋や来るまでに10分かかると大混雑エレベーターがあるなど、驚きづくしの場所だった。

しかし騙されるか犯罪に巻き込まれそうなので私は一生行けないだろう。ネットで内部の動画を見るのも面白いが、人類学者が書いた、社会的観点から分析したチョンキンマンションの本も闇の向こうの事情が分かるのでお勧めだ。※1 新潮社、1994年、238p、（新潮文庫）。

*** 八戸市図書情報センター 利用案内 ***



○開館時間

平日 10:00～20:00
 土日祝 10:00～18:00


○休館日

10月29日（金）

○貸出

図書・雑誌 8冊まで（15日以内）
 A V 4点まで（15日以内）

○お車でお越しのお客様へ

地図  部の駐車場に限り、1時間の無料駐車券を発行いたします。希望のお客様は、お手数ですが、お帰りの際に駐車券のご提示をお願いいたします。